

作業前作成書類

記録・説明・計画・備え付け書類の早見表

	事前調査 説明書	調査結果 ・根拠	資格者 情報	付近の 状況図 等	作業方法 説明書	作業区画 平面図等	工程表
	P 2～3	P 4～5	P 6	P 7	P 8～15	P 16	P 17
事前調査の 記録	◎ ○	○	○	○			
発注者への 事前調査結果 説明	● ○	● ○	● ○	○	○	○	○
作業計画	○			○	○	○	○
備え付ける 書類	○	○	○	○			
下請負人 への説明	○				○	○	○

◎：設計図書等で設置年月日等が平成18年9月以降と確認できた場合

●：石綿無しの場合



3部作成

発注者、元請、備え付け（保健所・下請負人説明用）

	事前調査 説明書	調査結果 ・根拠	資格者 情報	付近の 状況図 等	作業方法 説明書	作業区画 平面図等	工程表
	P 2～3	P 4～5	P 6	P 7	P 8～15	P 16	P 17
石綿あり	○	○	○	○	○	○	○
石綿なし	○ P 2 のみ	○	○	○			

※元請は、3年保存

事前調査説明書

作例 1
(1枚目)

2022年9月14日

解体等工事に係る事前調査説明書面

- ①発注者 住所 沖縄市美原1丁目6番28号
氏名 中部保健所 所長 中部 保太郎 様
- ②元請業者 住所 那覇市泉崎1丁目2番2号
氏名 保健所記入例株式会社 代表取締役 記入 例太郎
(法人にあつては、名称及びその代表者の氏名)
電話番号 098-●●●●-●●●●

大気汚染防止法第18条の15第1項に基づき、解体等工事に係る石綿使用の有無に関する事前調査結果について下記のとおり説明します。

③解体等工事の場所	沖縄市美原1丁目6番28号		
④解体又は改造・補修着手年月日	2022年 10月 1日	延床面積	200㎡
⑤解体等工事の種類	(解体) 改造・補修	階数	地上3階建
⑥建築物等の竣工年(新築工事の着工日記載の年を記載する)	昭和55年		
⑦建築物等の概要	<input checked="" type="checkbox"/> 建築物 (<input checked="" type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> 準耐火 <input type="checkbox"/> その他()) (<input type="checkbox"/> 木造 <input checked="" type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> S造 <input type="checkbox"/> その他()) <input type="checkbox"/> その他工作物		
⑧事前調査を行った者及び当該者が登録規定に基づく講習を受講した講習実施機関の名称等	氏名 株式会社石綿記入例 石綿 健司 講習実施機関の名称 沖縄県〇〇講習機関 (<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特定 <input type="checkbox"/> 一戸建て等 <input type="checkbox"/> その他())		
⑨調査を終了した年月日	2022年 9月 1日		
⑩調査の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 書面 <input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input checked="" type="checkbox"/> 分析 <input type="checkbox"/> その他()		
⑪調査の結果	⑫特定建築材料の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 石綿有又は石綿みなし有(詳細は別紙1のとおり) <input type="checkbox"/> 石綿無	
	⑬破壊しないと調査できない場所であつて、解体等が始まる前に確認できなかった場所	床下	
⑭事前調査	⑭設置予定年月日	2022年 10月 1日	
	⑭設置場所	別紙 のとおり	
⑮大気汚染防止法に係る作業の実施の届出の要否	<input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 不要 吹付、断熱材・保温材等レベル1, 2建材で石綿有りの場合要とする		

- 備考 1 特定建築材料が有り、特定粉じん排出等作業に該当する場合は別紙1を添付すること。
2 工事中に特定建築材料を見つけた場合、再度説明すること。

元請業者からこの書面の説明を受けました。 ⑯発注者氏名 中部保健所 所長 中部 保太郎 2022年 9月 14日
発注者へこの書面の説明を行いました。 ⑰元請業者氏名 保健所記入例株式会社 代表取締役 記入 例太郎 2022年 9月 14日

※ 書面の構成等を改変する場合は、○番号の項目を記載した書面とすることが望ましい。

※Gビズから出力可



石綿事前調査結果
報告システム利用
者マニュアル
- 詳細機能編 -
P 134~

別紙 1

特定粉じん排出（石綿除去）等作業の概要

① 特定粉じん排出等作業の種類	大気汚染防止法施行規則別表第7 <input type="checkbox"/> 1の項 建築物等の解体作業のうち、吹付け石綿及び石綿含有断熱材等を除去する作業（次項及び5の項を除く） <input type="checkbox"/> 2の項 建築物等の解体作業のうち、石綿含有断熱材等を除去する作業（かき落とし、切断、又は破砕以外の方法で特定建築材料を除去するもの）（5の項を除く） <input checked="" type="checkbox"/> 3の項 建築物等の解体等作業のうち、石綿含有仕上塗材を除去する作業（5の項を除く） <input checked="" type="checkbox"/> 4の項 建築物等の解体等作業のうち、石綿含有成形板等を除去する作業（1から3の項、事項を除く） <input type="checkbox"/> 5の項 特定建築材料の事前除去が著しく困難な解体作業 <input type="checkbox"/> 6の項 建築物等の改造・補修作業のうち、吹付け石綿及び石綿含有断熱材等に係る作業
② 特定粉じん排出等作業の実施の期間	自 2022年 10月 5日 至 2022年 10月 31日
③ 特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の部分における特定建築材料等の種類並びにその使用箇所及び使用面積	1 吹付け石綿 (, m ²) 2 石綿を含有する保温材 (, m ²) 3 石綿を含有する耐火被覆材 (, m ²) 4 石綿を含有する断熱材 (, m ²) 5 石綿を含有する仕上塗材 (, 157.3 m ²) 6 石綿を含有する成形板等 (, 197.6 m ²) 詳細は別紙 のとおり
④ 特定粉じん排出等作業の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 除去 <input type="checkbox"/> 囲い込み <input type="checkbox"/> 封じ込め <input type="checkbox"/> その他
⑤ 特定粉じん排出等作業の方法が法第18条の19各号に掲げる措置を当該各号に定める方法により行うものでないときは、その理由	—
⑥ 特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の配置図及び付近の状況	別紙 のとおり
⑦ 特定粉じん排出等作業の工程を明示した特定工事の工程の概要	別紙 のとおり
⑧ 作業の揭示 設置予定年月日 設置場所	2022年 10月 1日 別紙 のとおり
⑨ 特定工事の元請業者の現場責任者の氏名及び連絡場所	保健所記入例株式会社 現場代理人 現場 一郎 電話番号 090-●●●●-●●●●
⑩ 下請負人が特定粉じん排出等作業を実施する場合の当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡場所	株式会社石綿記入例 現場代理人 石綿 健司 電話番号 080-●●●●-●●●●

※ 書面の構成等を改変する場合は、○番号の項目を記載した書面とすることが望ましい。

備考 1 解体等工事が特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）に該当する場合に作成すること。

2 特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の対象となる建築物等の配置図、付近の状況、特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）工程を明示した特定工事（特定排出等工事）の工程の概要については、計画している作業方法等がわかるものを添付すること（作業工程を示す日程表、図面等）。

調査結果・根拠

作例 2

調査結果一覧表													
階	室名	床	面積㎡	判断 根拠	備考	壁・巾木	面積㎡	判断 根拠	備考	天井	面積㎡	判断 根拠	備考
1階	店舗	Pタイル(石綿非含有) 接着剤(石綿含有)	17.5			ビニル巾木(石綿含有) 接着剤(石綿含有)	1.9			石膏ボード		③	
	台所	Pタイル(石綿非含有) 接着剤(石綿含有)	24.6			ベニヤ板・タイル貼り		①		スレートボード	32.5		
	和室	合板下地		①		ベニヤ板		①		合板		①	
	玄関	タイル貼り		①		ベニヤ板		①		スレートボード	3.0		
	トイレ	タイル貼り		①		タイル貼り		①		けい酸カルシウム 板第1種	3.0		
	浴室	タイル貼り		①		コンクリート		①		プラスチック		①	
2階	階段	木		①		ベニヤ板		①		スレートボード	2.4		
	和室	合板下地		①		合板		①		合板		①	
	洋室(元和室)	フローリング		①		合板		①		石膏ボード		④	新JISマークによりH24 年以後と判断
	洋室	フローリング		①		合板		①		スレートボード	21.0		
	トイレ	Pタイル(石綿含有) 接着剤(石綿含有)	3.0			ビニル巾木(石綿含有) 接着剤(石綿含有)	0.7			プラスチック		①	
	外壁店舗側(1F・2F)	サイディングボード	30.5			けい酸カルシウム板第1種	7.0						
外壁他3面(1F・2F)	仕上塗材				けい酸カルシウム板第1種	33.0							
外部	下地調整材		157.3										
		合計	337.4										

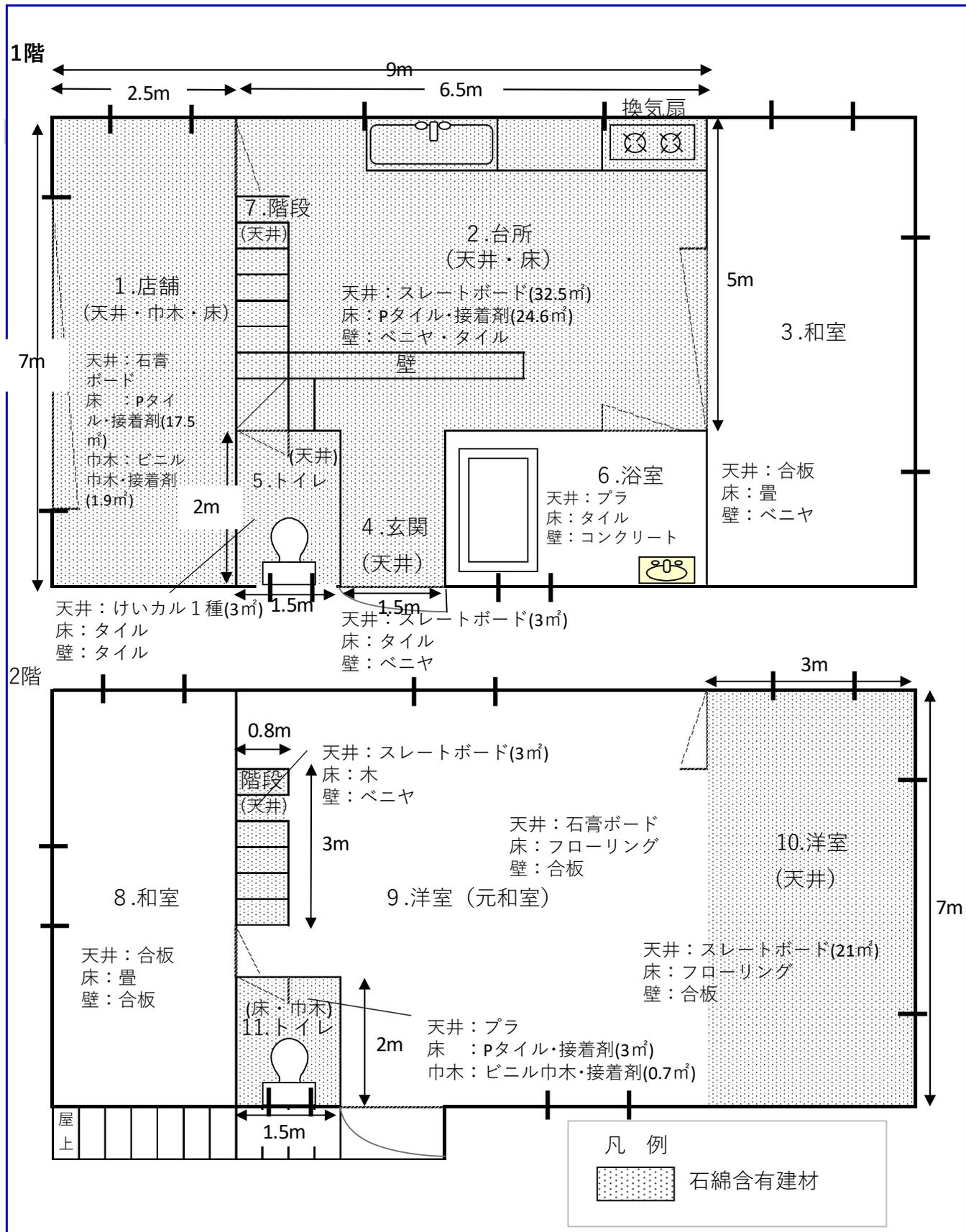
非含有判断根拠：①目視 ②設計図書 ③分析 ④材料製造者による証明 ⑤材料の製造年月日
石綿除去対象を網掛けして示す。
建材がない場合は「-」で示す。確認もれと区別するため、空白にはしない。

十分分析結果、建材製造者による証明書等を追加

調査結果・根拠

作例 2

外壁店舗側(1F・2F):サイディングボード(30.5㎡) けいカル1種(7㎡)
 外壁他3面(1F・2F):仕上塗剤、下地調整剤ド(157.3㎡) けいカル1種(33㎡)



※石綿含有の箇所、使用面積、寸法を記載してください
 ※天井、床・巾木、壁、外壁等の使用建材を記載してください

十分析結果、建材製造者による証明書等を追加

石綿作業主任者

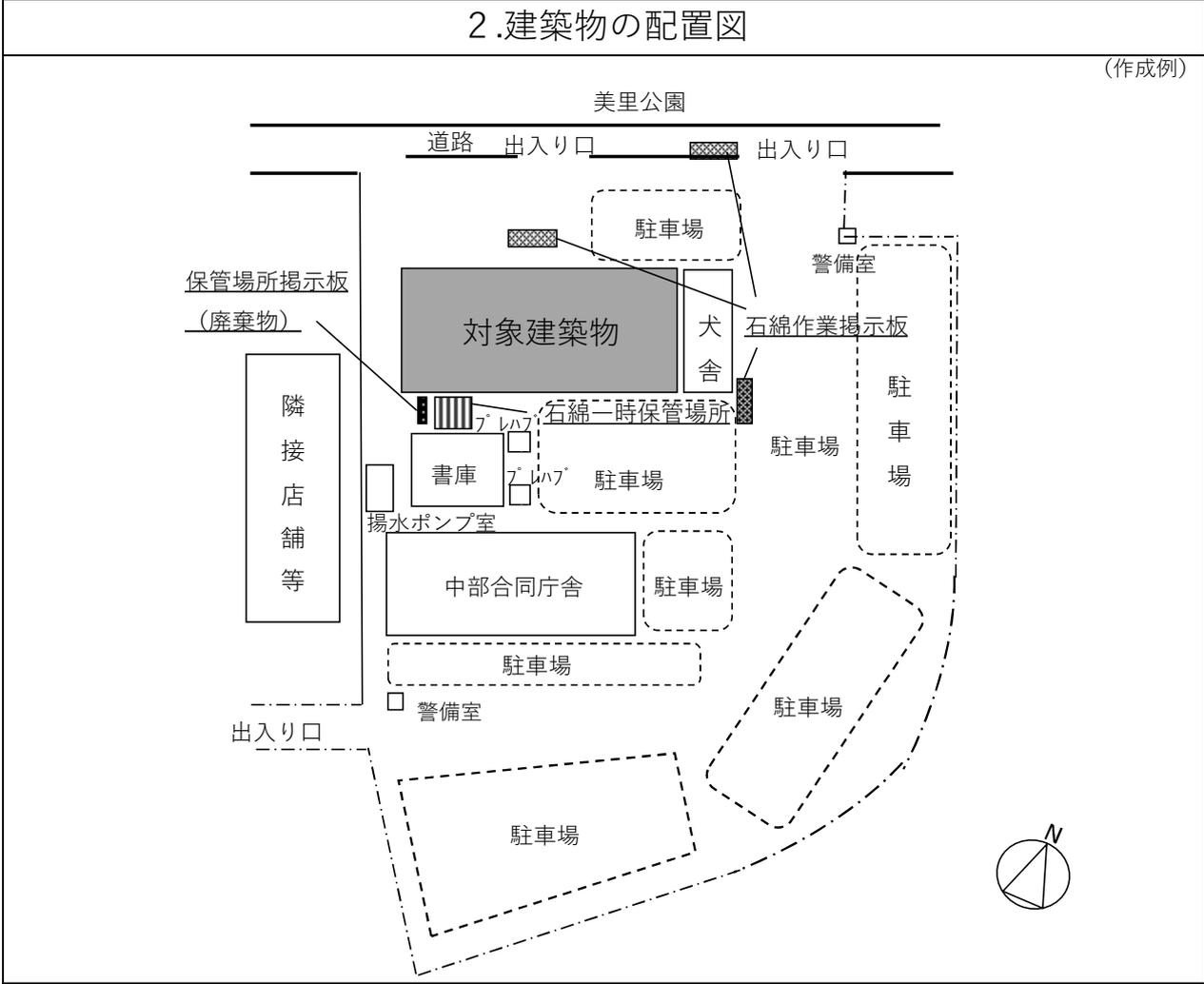
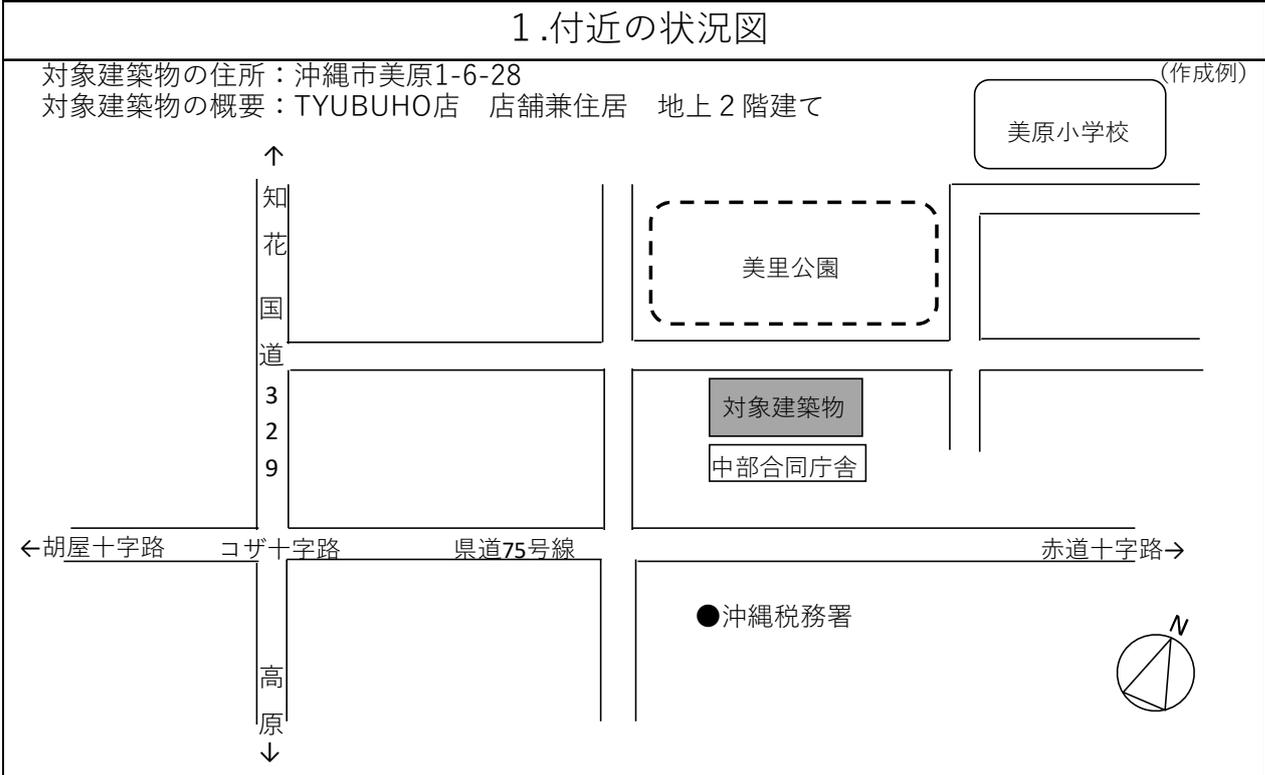
※「石綿除去作業」や「取り残しが無いことの確認」に必要な資格です。

事前調査者

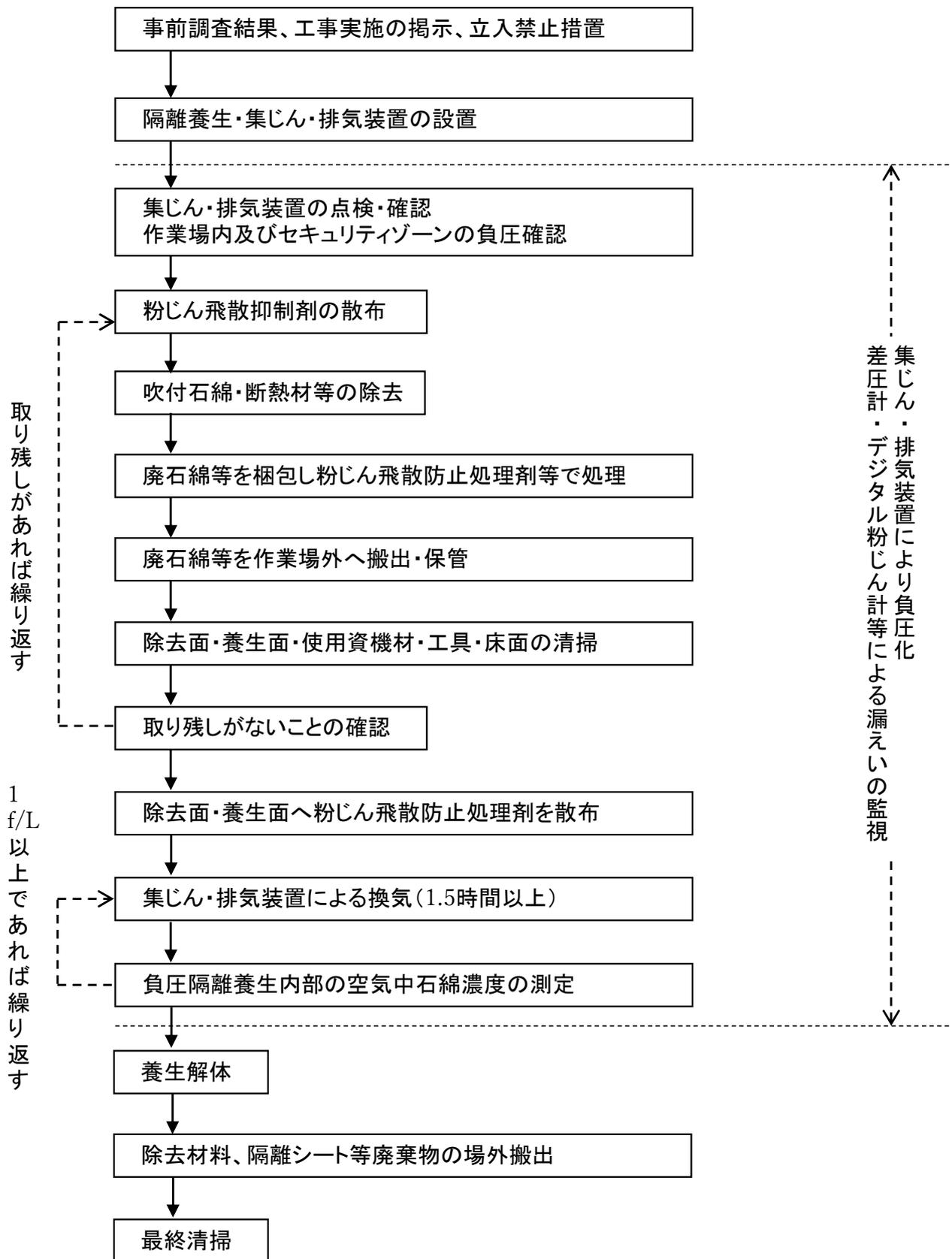
※「石綿事前調査」や「取り残しが無いことの確認」に必要な資格です。

※資格証のコピーを添付してください。

※工作物の「取り残しが無いことの確認」は、石綿作業主任者が行う

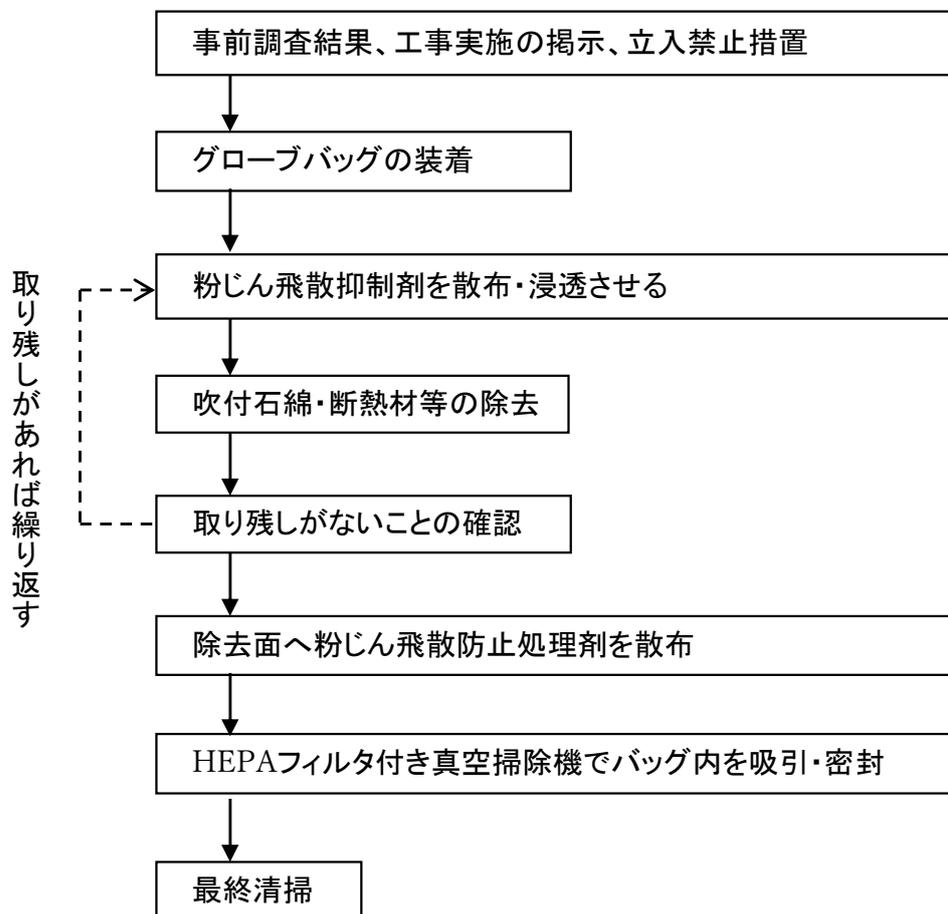


一吹付石綿・断熱材等を負圧隔離で除去する工法



※より詳細な手順は「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」P123を参照

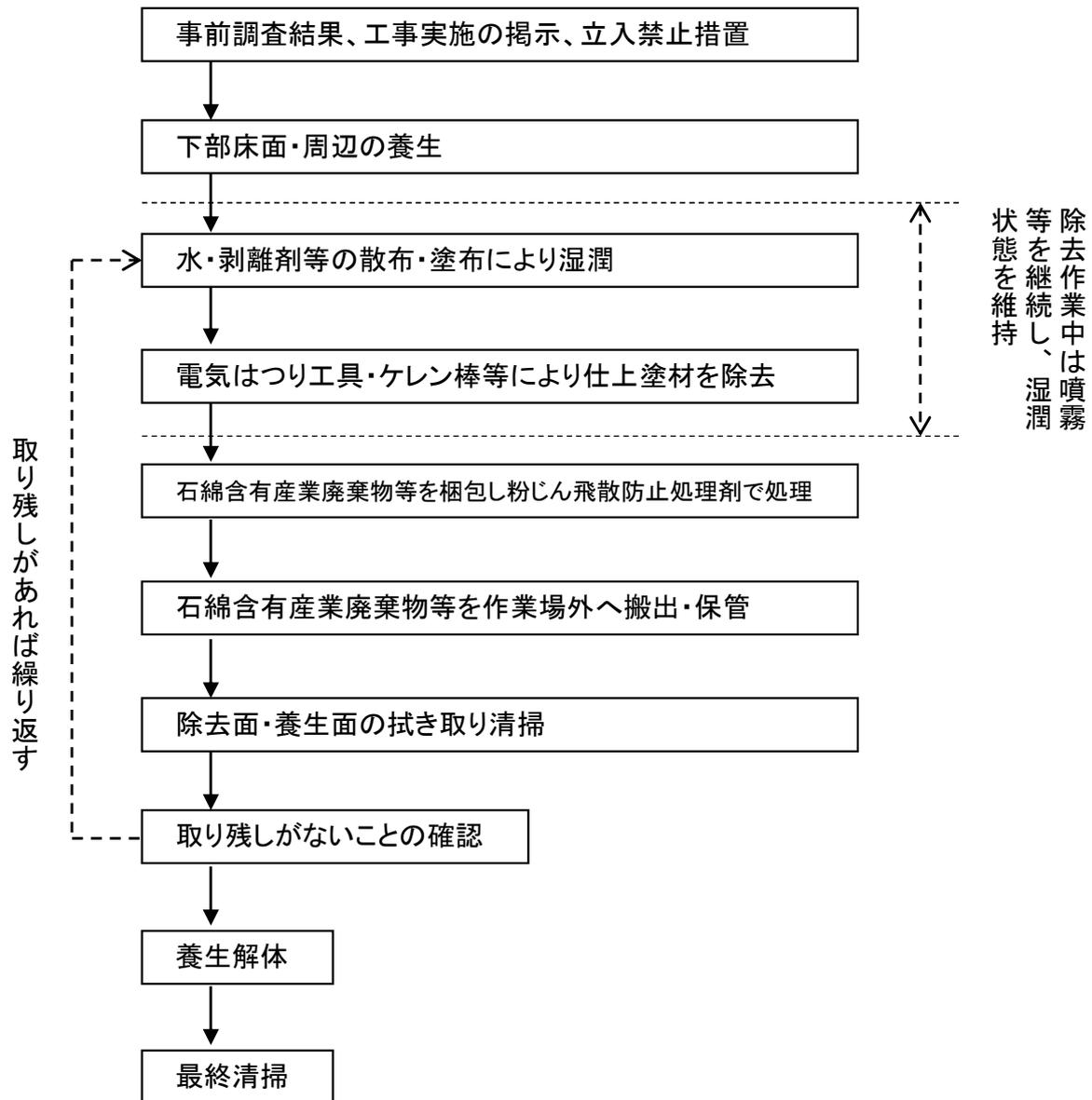
－吹付石綿・断熱材等をグローブバッグで除去する工法



※より詳細な手順は「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」P173を参照

作業方法説明書（作業フロー図）

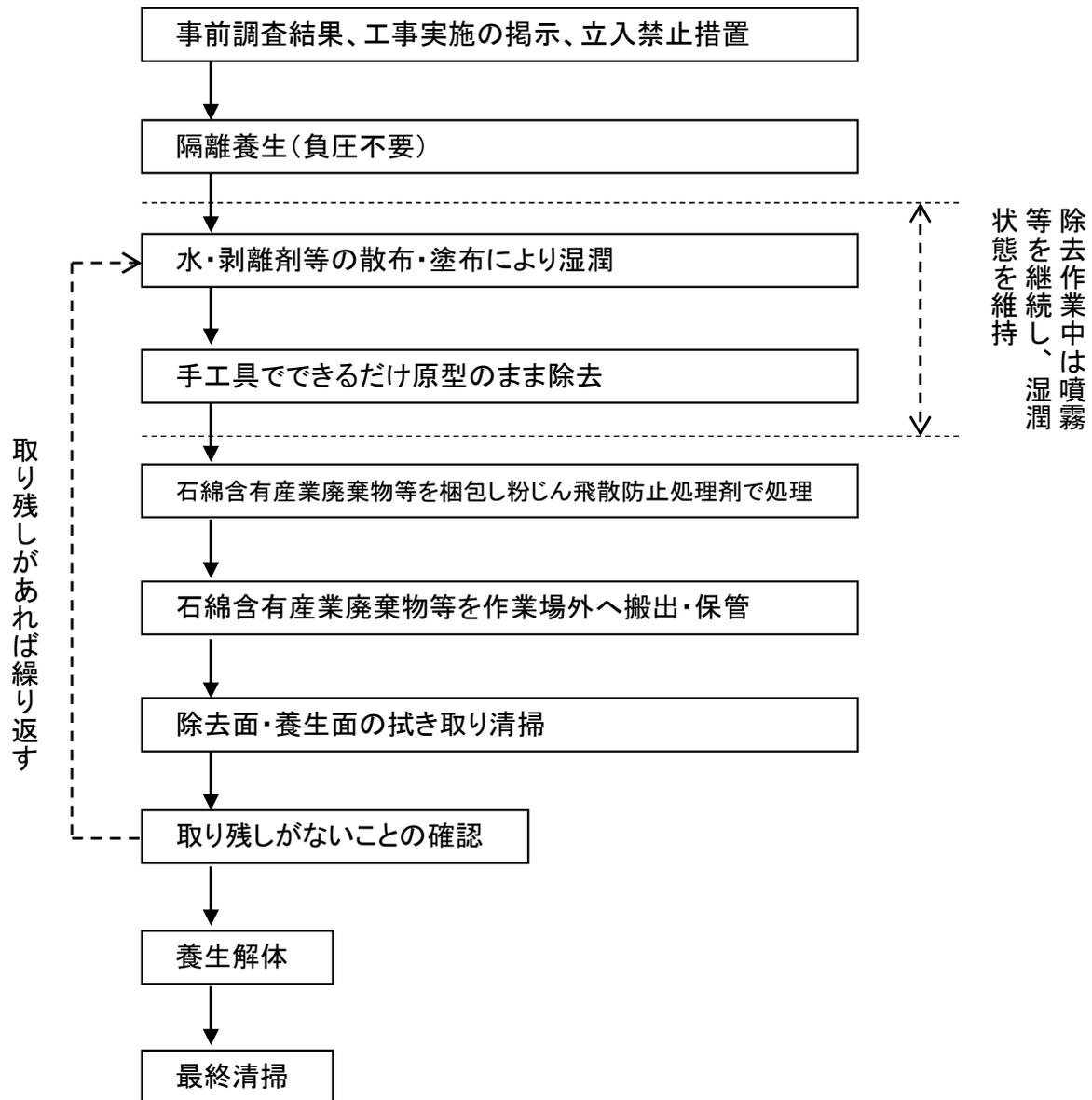
－仕上塗材を電気グラブナー等を使用せず除去する工法



※より詳細な手順は「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」P211を参照

作業方法説明書（作業フロー図）

ーケイ酸カルシウム板第一種を除去する工法



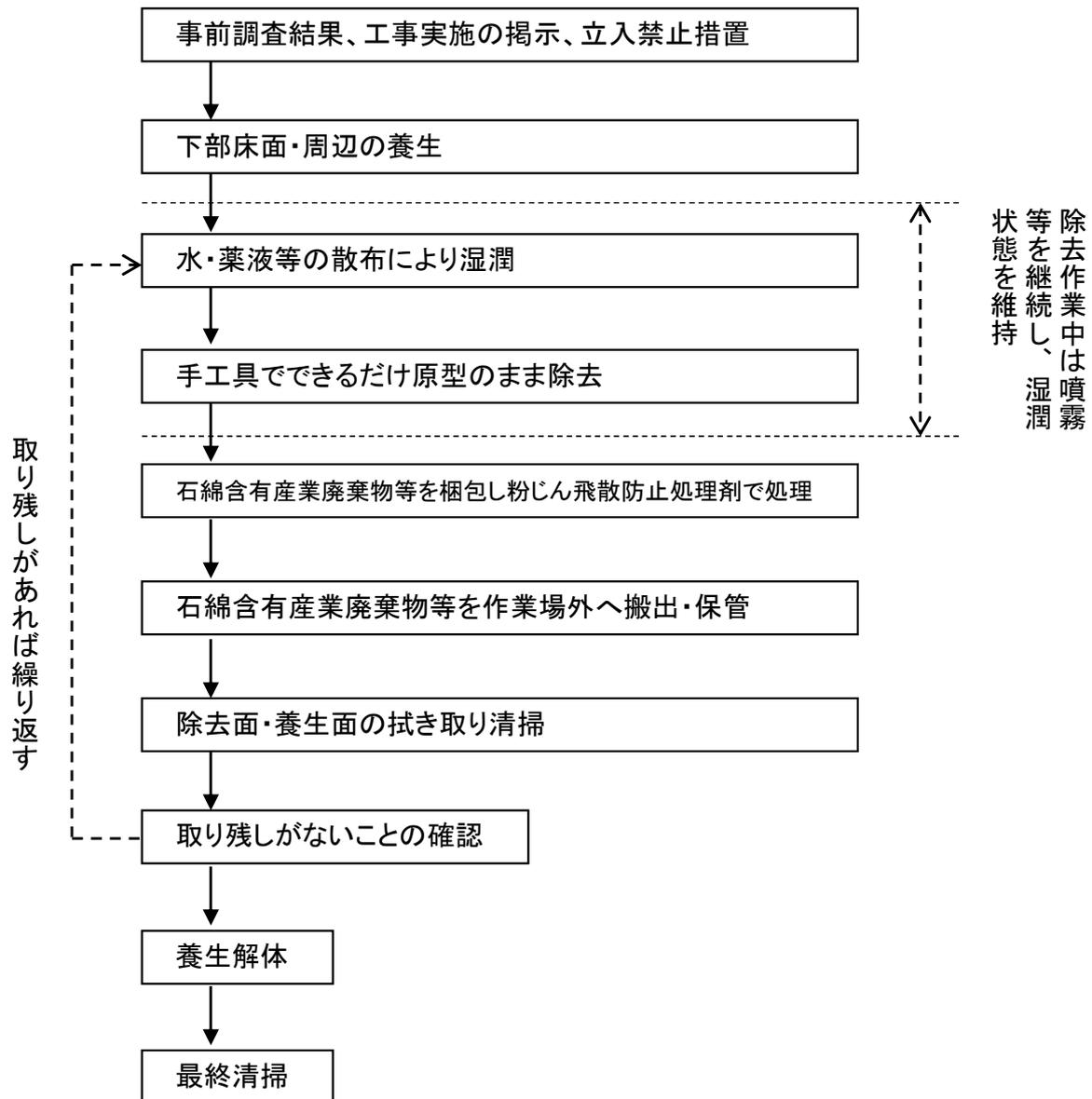
※より詳細な手順は「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」P184を参照

※「隔離養生」とは、除去面以外を全面的に養生することであり、開口部養生では不十分です。

作業方法説明書（作業フロー図）

－その他の石綿含有成形板等を除去する工法

（フレキシブルボード、石膏ボード、シーリング、パッキン等）



※より詳細な手順は「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」P186を参照

※接着剤はこの分類に区分されますが、電動工具を用いる場合は仕上塗材の工法に準じた対策が必要です。

作業方法説明書（集じん・排気装置設置台数計算書）

(1) H E P Aフィルタ付き集じん・排気装置の性能

High : 250m³/hr

Low : 100m³/hr

(2) 作業場・セキュリティゾーンの体積計算

作業場体積

$$= \text{床面積} \times \text{高さ} = 80\text{m}^2 \times 3\text{m} = 240\text{m}^3$$

セキュリティゾーン体積

$$= \text{幅} \times \text{奥行} \times \text{高さ} = 1\text{m} \times 3\text{m} \times 2\text{m} = 6\text{m}^3$$

全体体積 = 作業場体積 + セキュリティゾーン体積

$$= 240\text{m}^3 + 6\text{m}^3$$

$$= 246\text{m}^3$$

(3) H E P Aフィルタ付き集じん・排気装置の設置台数計算

作業場内の空気を、1時間に4回換気できる能力を確保する。

$$\text{必要な換気能力} = \text{全体体積} \times 4 = 246\text{m}^3 \times 4 = 984\text{m}^3$$

必要な設置台数 = 必要な換気能力 ÷ 集じん・排気装置1台の換気能力

$$= 984\text{m}^3 \div 250\text{m}^3/\text{hr}$$

$$= 3.936$$

→ 4台をHighで稼働すれば必要な能力を確保できる

作業方法説明書（石綿濃度測定計画）

（1）測定時期・箇所・条件・管理指標

測定時機期	測定箇所	測定 点数	測定流 量 (L/min)	測定 時間 (min)	採気 量 (L)	管理 指標 (f/L)
作業中	①セキュリティゾーン入口	1	5	120	600	1未満
	②集じん・排気装置の排気口	1	5	120	600	1未満
	③施工区画の外周	4	10	240	2400	1未満
養生解体前	④作業場内	1	5	240	2400	1未満

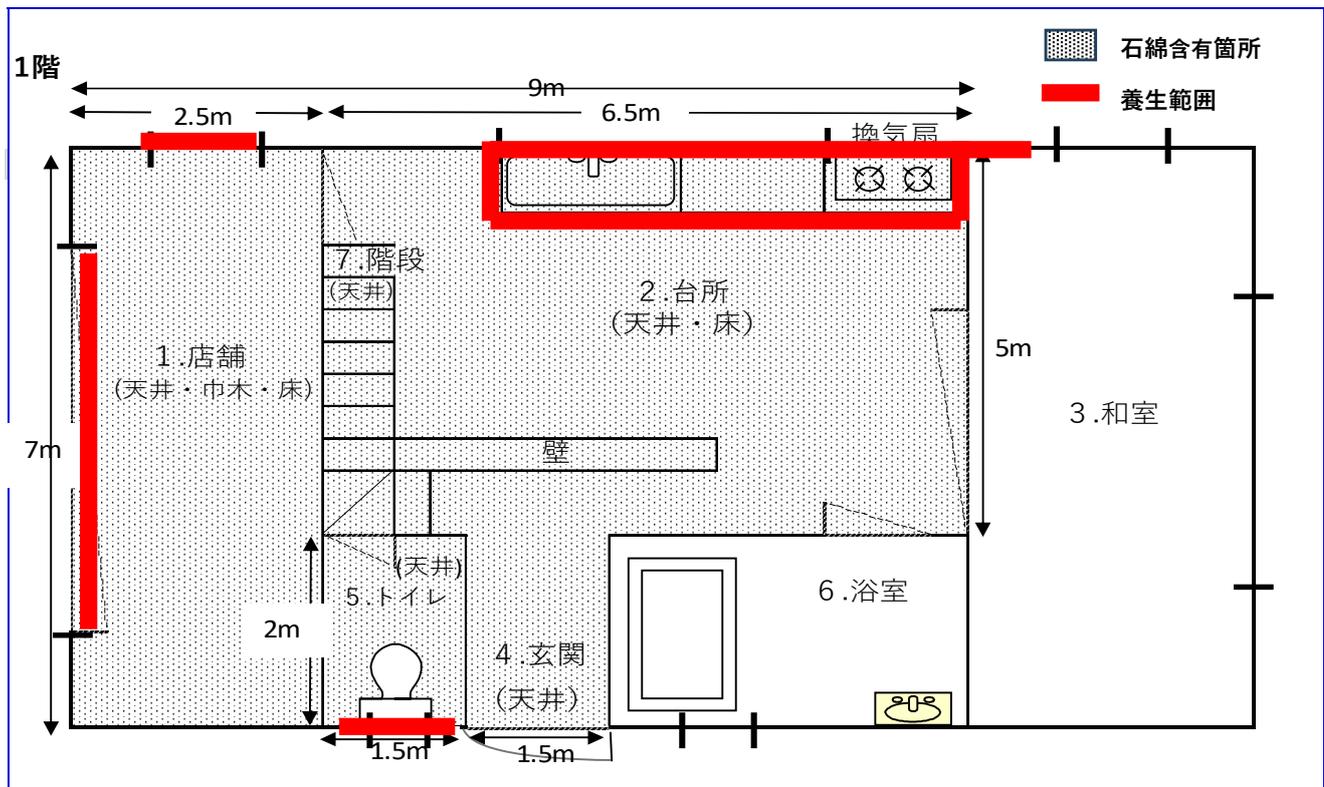


（敷地平面図）

（2）測定結果が管理指標を超過した場合の対応

測定時機	測定箇所	管理指標超過時の対応
作業中	①セキュリティゾーン入口	<ul style="list-style-type: none"> □ 作業中に判明した場合、作業を一時停止して原因調査・改善措置を講じ、粉じんの漏えいが無くなったことを確認してから再開する □ 保健所に連絡し、指導を受ける □ 周辺住民等に漏えい事実の説明を行う
	②集じん・排気装置の排気口	
	③施工区画の外周	
養生解体前	④作業場内	<ul style="list-style-type: none"> □ 作業場内の清掃・換気等を行い、再度測定する □ 管理指標を下回るまで測定・清掃等を繰り返す

作業区画平面図



※石綿含有箇所、養生範囲を記載

※清掃が確実にできる養生計画になっていること

工程表

事例 9

5. 工程表

(作成例)

特定工事の名称	工事の場所	発注者	解体工事期間 自	解体工事期間 至	施工者(元請け)	下請(石綿除去)	現場責任者	作成者	作成日
TYUBUHO店舗兼住居の石綿除去工事	沖縄市美原1-6-28	中部 保太郎	R4.4.25	R4.6.14	沖縄解体工事株式会社	沖縄石綿サービズ株式会社	現場 一郎	石綿 健二	R4.4.14
内容	<p>4月 15日 金</p> <p>5月 25日 月 26日 火 27日 水 28日 木 29日 金 30日 土 31日 日</p> <p>6月 1日 月 2日 火 3日 水 4日 木 5日 金 6日 土 7日 日 8日 月 9日 火 10日 水 11日 木 12日 金 13日 土 14日 日 15日 月 16日 火 17日 水 18日 木 19日 金 20日 土 21日 日 22日 月 23日 火 24日 水 25日 木 26日 金 27日 土 28日 日 29日 月 30日 火 31日 水 14日 土</p> <p>※レベル1、レベル2は大気汚染防止法に係る届出要。作成例は、レベル3建材及び仕上塗材のため、大気汚染防止法に係る届出不要。</p>								
大気汚染防止法等に係る届出 (届出対象の廢石 石綿除去工事の14日前まで)	<p>★</p> <p>※レベル1、レベル2は大気汚染防止法に係る届出要。作成例は、レベル3建材及び仕上塗材のため、大気汚染防止法に係る届出不要。</p>								
事前調査結果報告(都道府県へ電子報告等) ※1	<p>準備工</p> <p>共通仮設工</p> <p>アスベスト除去工</p> <p>準備・資機材搬入</p> <p>作業前清掃</p> <p>天井材 (けいカル板第1種)</p> <p>天井材 (スレートボード)</p> <p>巾木・床材 (接着剤含む)</p> <p>外壁 (サイディングボード)</p> <p>軒天 (けいカル板第1種)</p> <p>外壁 (仕上塗材・下地調整材)</p> <p>廃棄物の保管・処理</p> <p>作業記録の作成・発注者への石綿除去完了報告・記録の保存</p> <p>電気設備撤去工</p> <p>機械設備撤去工</p> <p>内部・外部解体工</p> <p>再接仮設工</p> <p>躯体解体工</p> <p>外構撤去工</p>								
作業記録の作成・発注者への石綿除去完了報告・記録の保存	<p>※本作成例では、石綿除去工事以外は省略していますが、解体工事の工程合め作成して下さい。</p>								
電気設備撤去工	<p>※1石綿の事前調査報告は解体工事(外構工事等)着手前に要実施。</p> <p>※2掲示については、解体等の作業の開始から終了まで工事期間を通して行う。</p>								
機械設備撤去工	<p>工事中 写真記録</p>								
内部・外部解体工									
再接仮設工									
躯体解体工									
外構撤去工									

※レベル1、2の届出に必要です

作例 10
(1枚目)

様式第3の5

特定粉じん排出等作業実施届出書

中部保健所長 殿

年 月 日

沖縄市美原1丁目6番28号
届出者 中部保健所 所長 中部 保太郎
098-●●●●-●●●●

吹付け石綿又は石綿を含有する断熱材、保温材若しくは耐火被覆材に係る特定粉じん排出等作業を実施するので、大気汚染防止法第18条の17第1項（第2項）の規定により、次のとおり届け出ます。

届出対象特定工事の場所	沖縄市美原1丁目6番28号 (届出対象特定工事の名称) 中部保健所解体工事		
届出対象特定工事の元請業者又は自主施工者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名	保健所記入例株式会社 代表取締役 記入 例太郎 那覇市泉崎1丁目2番2号		
特定粉じん排出等作業の種類	大気汚染防止法施行規則別表第7 ①の項 建築物等の解体作業（次項又は5の項を除く） ②の項 建築物等の解体作業のうち、石綿を含有する断熱材、保温材又は耐火被覆材を除去する作業（掻き落とし、切断、又は破碎以外の方法で特定建築材料を除去するもの）（5の項を除く） 5の項 特定建築材料の事前除去が著しく困難な解体作業 6の項 改造・補修作業 <u>1</u> (件)		
特定粉じん排出等作業の実施の期間	自 2022年 10月 5日	※整理番号	
	至 2022年 10月 31日	※受理年月日	
特定建築材料の種類	① 吹付け石綿 ② 石綿を含有する断熱材 ③ 石綿を含有する保温材 ④ 石綿を含有する耐火被覆材	※審査結果	
特定建築材料の使用箇所	見取図のとおり。		
特定建築材料の使用面積	20 m ²		
特定粉じん排出等作業の方法	別紙のとおり。		
参考事項	特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の概要	建築物 (耐火・準耐火・その他) 延べ面積 300m ² (3階建) その他工作物	※備考
	届出対象特定工事の元請業者又は自主施工者の現場責任者の氏名及び連絡場所	保健所記入例株式会社 現場代理人 現場 太郎 那覇市泉崎1丁目2番2号 電話番号 098-●●●●-●●●●	
	下請負人が特定粉じん排出等作業を実施する場合の当該下請負現場責任者の氏名及び連絡場所	株式会社石綿記入例 現場代理人 石綿 健司 那覇市泉崎1丁目2番2号 電話番号 098-●●●●-●●●●	

備考 1 吹付け石綿又は石綿を含有する断熱材、保温材若しくは耐火被覆材に係る特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の部分の見取図を添付すること。見取図は、主要寸法及びこれらの特定建築材料の使用箇所を記入すること。

2 参考事項の欄に掲げる事項は必須の記載事項ではないが、同欄に所定の事項を記載した場合は、同欄をもって、大気汚

特定粉じん排出等作業の方法

特定粉じん排出等作業における措置	(除去) ・ 囲い込み ・ 封じ込め ・ その他
特定粉じん排出等作業の方法が大気汚染防止法第18条の19各号に掲げる措置を当該各号に定める方法により行うものではないときは、その理由	非該当
集じん・排気装置	
機種・型式・設置数	2
排気能力 (m ³ / min)	60m ³ /min (1時間当たり換気回数 4回)
使用するフィルタの種類及びその集じん効率(%)	HEPAフィルタ 99.97%以上
使用する資材及びその種類	HEPAフィルター付き集じん機、粉じん飛散防止処理剤、ディスクサンダー、養生用シート(厚さ0.15mm)、養生テープ等
その他の特定粉じんの排出又は飛散の抑制方法	非該当

- 備考 1 本様式は特定粉じん排出等作業ごとに作成すること。
- 2 使用する資材及びその種類の欄には、湿潤剤・固化剤等の薬液、隔離用のシート・接着テープ等の特定粉じん排出等作業に使用する資材及びその種類を記載すること。
- 3 その他の特定粉じんの排出又は飛散の抑制方法の欄には、大気汚染防止法施行規則別表第7に規定する「同等以上の効果を有する措置」の内容、散水の方法、囲い込み又は封じ込めの方法等を記載すること。
- 4 作業場の隔離又は養生の状況、前室及び掲示板の設置状況を示す見取図を添付すること。見取図は、主要寸法、隔離された作業場の容量 (m³) 並びに集じん・排気装置の設置場所及び排気口の位置を記入すること。